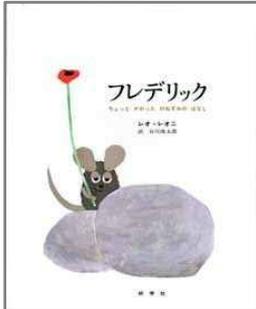


## フレデリック

レオ・レオニ<sup>さく</sup>／作 谷川俊太郎<sup>たにかわしゆん たろう やく</sup>／訳

好学社<sup>こうがくしゃ</sup> [29p] ISBN : 978-4-7690-2002-8



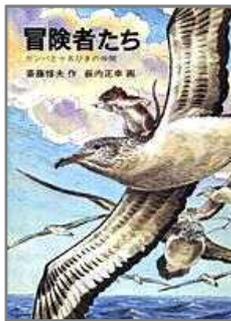
冬じたくに、のねずみたちは、とうもろこしや木の実<sup>み</sup>、わらなどを集め始めた。けれども、フレデリックだけは働かずにじっとしているだけ。お日さまの光や色、言葉を集めているというのだ。そして冬が来て、巣に集めたものがなくなったとき、ついにフレデリックの出番が来た。

## 冒険者たち (ガンバの冒険 2)

斎藤惇夫<sup>さいとうあつお さく</sup>／作 藪内正幸<sup>やぶうちまさゆき が</sup>／画

岩波書店<sup>いわたみしょてん</sup> 380p ISBN : 978-4-00-110527-8

シリーズ3 さつ



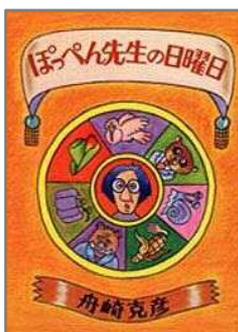
海が見たくて港にやってきたガンバ。船乗りネズミの集まりに参加すると、そこに傷だらけの島ネズミ<sup>きず</sup> 忠太<sup>ちゆうた</sup>がやってきた。おそろしいイタチのノロイから、仲間を助けてほしいというのだ。力じまんのヨイショ、物知りのガクシャ<sup>ちから</sup>など、個性的な15匹の仲間とともに船に乗りこみ、ガンバ<sup>こせいでき ひき</sup>は夢ヶ島<sup>ゆめがしま</sup>へ向かう。

## ぽっぺん先生の日曜日

舟崎克彦<sup>ふなざきよしひこ さく</sup>／作

筑摩書房<sup>ちくましよぼう</sup> 247p ISBN : \*

シリーズ10 さつ



ぽっぺん先生は、本の整理を始めたときにふと手にした「なぞなぞの本」の中へ入りこんでしまう。ここは動物たちの出すなぞなぞを解<sup>と</sup>けないと次のページへ進めない世界。ところが、そのなぞなぞときたら、だじゃれやいいかげんなものばかり。ぽっぺん先生と一緒に頭<sup>いっしょ</sup>をひねって読めばいっそう楽しい物語。